

福井県・浙江省青少年交流事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
浙江省の青少年との交流を促進し相互理解を深めることにより、国際社会の中で活躍できる視野の広い人材の育成を図る。												
[事業内容]												
<p>(1) 浙江省中学生の受入れ、スポーツ交流・生活体験</p> <p>①受入人数 中学生6名、引率者2名</p> <p>②受入期間 4泊5日(予定)</p> <p>③学習・体験内容 バドミントンや卓球等を通じた浙江省中学生とのスポーツ交流、ホームステイを通じた生活体験等</p> <p>④受入者の決定 浙江省政府が決定</p> <p>⑤費用負担 日本到着後の交通費、滞在費、食費等、全ての経費は福井県が負担 中国国内の移動費は浙江省が負担</p> <p>(2) 書画の交換・展示 県内友好提携市や学校に働きかけ、書画の交換および展示を実施</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					996	925	996	925				
2月現計予算額の推移					614							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	派遣または受入人数 (目標)				(6)	(6)	(6)	(6)	浙江省への派遣人数または浙江省からの受入人数 (派遣・受入を交互に実施) (※H28は受入)			
	(実績)				5							
活動指標	派遣または受入応募人数 (目標)				(6)	(6)	(6)	(6)	浙江省への派遣人数または浙江省からの受入人数 (派遣・受入を交互に実施) (※H28は受入)			
	(実績)				8							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	925				925	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名 福井県・浙江省青少年交流事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔
[事業の必要性・要求の背景] 浙江省との友好提携締結20周年を迎えた際に両県省で合意した、将来の友好交流の担い手となる青少年の交流を強化する必要がある。						
[受益者] 中学生			[想定される受益者数] 6人			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況				
[事業の評価]						
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価		
<27年度実績> ・浙江省への派遣 人数 5人 期間 平成27年8月6日(木)～10日(月) 内容 紹興文理学院附属中学校とのスポーツ交流 ホームステイ体験、文化体験交流		・派遣・受入を交互に実施		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し 見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他

海外調査活動推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [] 政策 []			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H16 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
<p>経済のグローバル化やボーダレス化が進み行政施策立案に際しても、国内の情勢調査だけでなく海外の情勢調査も重要となる中で、海外調査活動を推進・強化することにより、県の政策立案機能を高め総合的な国際施策を推進する。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 海外出張の実施 各分野における先進地や新たな開拓での調査 県の施策の遂行上、重要かつ緊急な対応を要する案件</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		4,000	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200				
2月現計予算額の推移		4,000	1,200	1,200	1,200							
決算額の推移		746	914	874								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	(目標) 実績								予算では想定されなかった海外への調査等に対応するための事業であるため、成果指標の設定は困難			
活動指標	調査テーマ数(件) (目標) 実績	2	2	3	4				予算では想定されなかった海外への調査等に対応するための事業であるため、目標値の設定は困難			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	1,200				1,200	事業実施方法	直営					
						補助率						

事業評価

事業名	海外調査活動推進事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔
[事業の必要性・要求の背景]							
グローバル化の進展に伴い、県の施策においても海外の事例等を活用する必要があるため。							
[受益者]				[想定される受益者数]			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度実績> ・中国旅行会社との観光商談会(1件) ・北陸韓国経済交流会議への参加(1件)等				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

新観光統計調査事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H25 年度	事業終了予定年度	— 年度
関連する県の計画等		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
観光庁の「観光入込客統計に関する共通基準」に対応すした観光客動態調査を実施し、本県の観光施策等への活用を図る。												
[事業内容]												
(1) 観光客動態調査												
①調査方法 調査員による面接調査												
②調査地点 県内主要観光地17地点 (一乗谷朝倉氏遺跡、東尋坊、丸岡城、芝政ワールド、越前松島水族館、永平寺、恐竜博物館、スキージャム勝山、平成大野屋、越前そばの里、越前陶芸村、道の駅「河野」、氣比神宮、日本海さかな街、レインボーライン、蘇洞門、道の駅「シーサイド高浜」)												
③回収サンプル数 12,000サンプル以上 (サンプル数には同行者数を含む)												
④調査項目 年齢・性別、旅行目的、旅行形態、交通手段、宿泊数、訪問観光地点数、観光消費額 等												
(2) 観光客動態調査 (簡易調査)												
①調査方法 調査員による面接調査												
②調査地点 県内主要観光地13地点 (あわら温泉、西山公園、道の駅「若狭おばま」、熊川宿、九頭竜湖、常神半島、おばま食文化館、道の駅「越前」、うみんぴあ大飯、海遊バザール千鳥苑、道の駅「名田庄」、和紙の里、水晶浜海水浴場)												
③回収サンプル数 8,000サンプル以上 (サンプル数には同行者数を含む)												
④調査項目 訪問観光地点数、観光消費額のみ												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移		4,030	3,981	3,981	3,981	3,981	3,981					
2月現計予算額の推移		2,825	3,759	3,981								
決算額の推移		2,825	3,715									
[成果指標等の推移]												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	(目標)							観光庁の基準に基づき、観光庁に提出するための統計調査を行っているため、成果指標の設定は困難				
	実績											
活動指標	調査箇所数 (箇所)	(目標)	(17)	(30)	(30)	(30)	(30)	観光動態調査地点数				
		実績	17	30	30							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	3,981				3,981	事業実施方法	直営					
						補助率						

事業評価

事業名	新観光統計調査事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>観光庁の基準に基づく観光入込客統計調査を実施することにより、調査を実施している都道府県の観光入込客数や観光消費額等の把握や、過去の観光客入込数等とも比較することが可能になる。</p> <p>また、観光新戦略のフォローアップへの活用や観光地の活性化・魅力づくり等にも必要となる。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
他県の状況	観光庁の「観光入込客統計に関する共通基準」により実施するものであり、大阪府を除く46都道府県で実施			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
・観光客動態調査(17地点) 一乗谷朝倉氏遺跡、東尋坊、丸岡城、芝政ワールド、越前松島水族館、永平寺、恐竜博物館、スキージャム勝山、平成大野屋、越前そばの里、越前陶芸村、道の駅「河野」、氣比神宮、日本海さかな街、レインボーライン、蘇洞門、道の駅「シーサイト高浜」 ・観光客動態調査(簡易調査)(13地点) あわら温泉、西山公園、道の駅「若狭おばま」、熊川宿、九頭竜湖、常神半島、おばま食文化館、道の駅「越前」、うみんぴあ大飯、海遊バザール千鳥苑、道の駅「名田庄」、和紙の里、水晶浜海水浴場					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

観光ボランティアガイド活動促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔																																				
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H8 年度 経過年数	事業終了 予定年度	— 年度																																			
関連する県の計画等		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金					<input type="checkbox"/> その他	21 年																																	
<p>[事業目的]</p> <p>観光ボランティアガイドにより、きめ細かい観光情報を提供するため、福井県観光ボランティアガイド連絡協議会が行う取組みを支援する。</p>																																															
<p>[事業内容]</p> <p>福井県観光ボランティアガイド連絡協議会が実施する活動への支援</p> <p>(1) 「語り部コンクール」の開催 市町の観光ボランティアガイド団体から選ばれた方による模擬ガイドを行い、ガイドの活動と、観光地にまつわる歴史等を県民等に紹介する。</p> <p>(2) 先進的な取り組みの研究・共有化 各団体間でガイドの運営方法、資質向上への取り組み等について意見交換を行うとともに、県外の先進的な取組みを視察し、活動の活発化を図る。</p> <p>(3) 現地研修会の開催 観光ボランティアガイド団体が行う、会員・市町の歴史講座等の参加者を対象に、観光地・歴史に対する知識を深める現地研修会の開催を支援する。</p>																																															
<p>[予算額の推移等] (単位：千円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 5%;">24年度</th> <th style="width: 5%;">25年度</th> <th style="width: 5%;">26年度</th> <th style="width: 5%;">27年度</th> <th style="width: 5%;">28年度</th> <th style="width: 5%;">29年度</th> <th style="width: 5%;">30年度</th> <th style="width: 40%;">主な増減理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当初予算額の推移</td> <td style="text-align: center;">960</td> <td style="text-align: center;">960</td> <td style="text-align: center;">878</td> <td style="text-align: center;">878</td> <td style="text-align: center;">878</td> <td style="text-align: center;">878</td> <td style="text-align: center;">878</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2月現計予算額の推移</td> <td style="text-align: center;">960</td> <td style="text-align: center;">960</td> <td style="text-align: center;">878</td> <td style="text-align: center;">878</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>決算額の推移</td> <td style="text-align: center;">960</td> <td style="text-align: center;">960</td> <td style="text-align: center;">864</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由	当初予算額の推移	960	960	878	878	878	878	878		2月現計予算額の推移	960	960	878	878					決算額の推移	960	960	864					
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由																																							
当初予算額の推移	960	960	878	878	878	878	878																																								
2月現計予算額の推移	960	960	878	878																																											
決算額の推移	960	960	864																																												
<p>[成果指標等の推移]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">区 分</th> <th style="width: 10%;">24年度</th> <th style="width: 10%;">25年度</th> <th style="width: 10%;">26年度</th> <th style="width: 10%;">27年度</th> <th style="width: 10%;">28年度</th> <th style="width: 10%;">29年度</th> <th style="width: 10%;">30年度</th> <th style="width: 30%;">目標・指標の考え方・積算根拠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果指標</td> <td>登録人数(人)</td> <td>(目標) (400) 実績 374</td> <td>(400) 386</td> <td>(400) 392</td> <td>(400)</td> <td>(400)</td> <td>(400)</td> <td>H24実績 374人の約10%増：400人</td> </tr> <tr> <td>活動指標</td> <td>研修回数(回)</td> <td>(目標) (8) 実績 7</td> <td>(8) 8</td> <td>(8) 6</td> <td>(8)</td> <td>(8)</td> <td>(8)</td> <td>1ヶ月半に1回のペースで開催：年間8回</td> </tr> </tbody> </table>												区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠	成果指標	登録人数(人)	(目標) (400) 実績 374	(400) 386	(400) 392	(400)	(400)	(400)	H24実績 374人の約10%増：400人	活動指標	研修回数(回)	(目標) (8) 実績 7	(8) 8	(8) 6	(8)	(8)	(8)	1ヶ月半に1回のペースで開催：年間8回									
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠																																							
成果指標	登録人数(人)	(目標) (400) 実績 374	(400) 386	(400) 392	(400)	(400)	(400)	H24実績 374人の約10%増：400人																																							
活動指標	研修回数(回)	(目標) (8) 実績 7	(8) 8	(8) 6	(8)	(8)	(8)	1ヶ月半に1回のペースで開催：年間8回																																							
<p>[財源内訳・事業主体等]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">区分</th> <th style="width: 10%;">事業費</th> <th style="width: 10%;">国庫</th> <th style="width: 10%;">起債</th> <th style="width: 10%;">その他</th> <th style="width: 10%;">一般財源</th> <th style="width: 10%;">事業主体</th> <th style="width: 10%;">事業実施方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予算額</td> <td style="text-align: center;">878</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">878</td> <td>福井県観光ボランティアガイド連絡協議会</td> <td>補助</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助率 10/10</td> </tr> </tbody> </table>												区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	事業実施方法	予算額	878				878	福井県観光ボランティアガイド連絡協議会	補助								補助率 10/10												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	事業実施方法																																								
予算額	878				878	福井県観光ボランティアガイド連絡協議会	補助																																								
							補助率 10/10																																								

事業評価

事業名	観光ボランティアガイド活動促進事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔
[事業の必要性・要求の背景]							
観光客の満足度を高め、今後のリピーターの拡大につなげるため、県内の観光ボランティアガイドの資質向上を図る必要がある。							
[受益者]				[想定される受益者数]			
観光ボランティアガイド				358人（平成27年12月末現在）			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度実績> ・福井の広域語り部ガイド発表・交流会の開催 開催日時：平成28年3月17日（木）10:30～16:00 開催場所：道の駅若狭おばま、小浜市内、若狭町内 ・現地研修会開催への支援 3件				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

観光おもてなし認定事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	観光営業部	課名	観光振興課		課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H23 年度	事業終了 予定年度	— 年度	
関連する県の計画等		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金		経過年数			
			[福井県観光新戦略]			<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他		6 年				
[事業目的]													
適切な観光情報の提供や接遇により観光客の満足度を向上させるため、主に観光に携わる事業者の観光知識・接客スキル等の底上げや、一般県民のおもてなし意識の醸成を図る。													
[事業内容]													
(1) 福井県観光おもてなし認定制度の実施 福井県の観光と接遇の知識を身に付けた観光関連事業者等を県が認定し、意識啓発を促進 対象 観光ガイド、タクシー運転手、宿泊施設・飲食店等の従業員、意欲ある県民など 内容 認定講習 4回（嶺北：2か所、嶺南：2か所 ※平日・土日それぞれ開催） 認定試験 3回（嶺北・嶺南各1回、追加試験も有り） その他 認定者には認定証、認定カードを交付													
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移		611	606	462	664	646	581	523					
2月現計予算額の推移		611	606	462	664								
決算額の推移		221	484	245									
[成果指標等の推移]													
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光おもてなし認定者数 (目標)				(100)	(100)	(100)	(100)	H28目標 100人（新規認定者数）				
	(実績)	117	108	109									
活動指標	認定講習および認定試験 (目標)				(4)	(4)	(4)	(4)	H28目標値 4回 嶺南・嶺北全域の県民が広く参加できるよう実施				
	(実績)	3	3	3									
[財源内訳・事業主体等]													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県					
予算額	646			(諸)	20	626	事業実施方法		直営				
							補助率						

事業評価

事業名	観光おもてなし認定事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>平成30年度の福井国体や平成32年度の東京オリンピック・パラリンピックの開催、また平成34年度の北陸新幹線敦賀開業等が今後予定され、今後の観光客の増加が見込まれる中、訪れた観光客の満足度を高め、その後の再来訪、口コミによる誘客につなげていくためには、観光事業者を含めた県民一人一人のおもてなし意識の向上が重要である。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
観光客				11,318千人(平成26年観光客入込数)				
他県の状況	富山県 とやま観光未来創造塾 石川県 観光おもてなし塾			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井県認定観光ガイド養成事業 (役割分担) 福井県おもてなし認定者を対象に、県内の観光情報やおすすめルート等を一様に説明できるような人材を育成			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<27年度実績> ・おもてなし認定講習(全4回) 第1回 平成27年 6月17日(水) (44人) 第2回 平成27年 9月17日(土) (73人) 第3回 平成28年 1月16日(土) (81人) 第4回 平成28年 2月6日(土) (18人) ・おもてなし認定試験(全3回) 第1回 平成27年 9月2日(金) (23人) 第2回 平成27年 10月29日(木) (37人) 第3回 平成28年 3月13日(日)					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

観光レベルアップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H23 年度 経過年数 6 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
北陸新幹線敦賀開業を控え新幹線を利用して来訪する観光客の増加が予想されるなかで、観光客の満足度を高めるため、観光客と最初に接する機会が多いタクシー事業者に対し接遇のスキルアップを図る。												
[事業内容]												
<p>(1) 福井観光レベルアップスクールの開催（391千円） タクシー事業者を対象に、専門的な講師による講義を実施する。 コース タクシー事業者コース 内 容 専門講義（嶺南・嶺北の2回開催）</p> <p>(2) 専門家の指導による観光施策の推進（564千円） 観光事業に精通した専門家の助言を取り入れ、本県の観光施策の推進を図る。 （専門家：観光新戦略策定委員等を想定）</p>												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		932	594	613	2,111	955	860	774				
2月現計予算額の推移		932	594	613	2,111							
決算額の推移		40	411	574								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	福井観光レベルアップスクール参加人数（人）		40	150	(100)	(100)	(100)	(100)	1回あたり50名			
活動指標	福井観光レベルアップスクール開催回数（回）		2	2	(2)	(2)	(2)	(2)	嶺南・嶺北で実施			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	955				955	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	観光レベルアップ事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>観光客が最初に接する機会が多く、旅の印象に大きく影響する「タクシー事業者」については、平成30年度の福井国体、平成32年度の東京オリンピック・パラリンピックなどの大規模イベントが開催されるにあたり、事前におもてなしの意識醸成やスキルアップ等の体制を強化する必要がある。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
観光客				11,318千人（平成26年観光客入込数）				
他県の状況	富山県 とやま観光未来創造塾 石川県 観光おもてなし塾			前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<27年度実績> ・福井観光レベルアップスクール 平成28年3月18日（金） 中小企業産業大学校、プラザ萬象 ・専門家の指導による観光施策の推進 平成28年1月13日（水）福井県観光戦略推進懇話会開催					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

観光教育推進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H31 年度
関連する県の計画等			[ふくい創生・人口減少対策戦略、福井県観光新戦略]								
[事業目的]											
次代を担う高校生・大学生を対象とした観光に関する講座を職業教育の一環として取り入れるとともに、観光の専門的な指導力を高めるための教員研修会を実施することで、地元の誇りと愛着を持ち、ふるさと振興や地域活性化に寄与する人材を養成する。											
[事業内容]											
(1) 県内の高校生・大学生を対象にした観光に関する講座を開催											
(2) 観光教育を推進するための教員研修会を開催											
(3) 福井県観光アカデミーの開講 定員：30名 回数：10回（公開講座2回を含む）											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移					5,257	5,028	5,028	5,028			
2月現計予算額の推移					5,257						
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	観光アカデミー受講者数 (人)				(30)	(30)	(30)	(30)	H27～H31 150人（ふくい創生・人口減少対策戦略）		
					30						
活動指標	観光アカデミーの開催回数 (回)				(10)	(10)	(10)	(10)	実施予定回数		
					10						
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県			
予算額	5,028			諸	300	4,728	事業実施方法	直営			
							補助率				

事業評価

事業名	観光教育推進事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>観光を通じた地域の活性化に成功した地域の多くには、明確なビジョンを持って地域の目指すべき姿や目標が地域内で浸透するまで普及に努め、諸機関や関係者の先導役を担う熱意に溢れるリーダーが存在しており、本県においても観光まちづくりをリードする人材や、地域の観光産業を牽引する観光事業者等を育成することが必要である。</p>								
<p>[受益者]</p> <p>受講者</p>				<p>[想定される受益者数]</p> <p>170人（観光アカデミー 30人 公開講座 70人×2回）</p>				
他県の状況	富山県 とやま観光未来創造塾			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況				
<p>[事業の評価]</p>								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<27年度実績> ・高校生・大学生を対象にした観光に関する講座 全6回 ・観光教育を推進するための教員研修会 全2回 ・観光アカデミーの開講 全10回（受講者数30名）					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

福井県認定観光ガイド養成事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H28 年度	事業終了予定年度	H34 年度
関連する県の計画等			政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数		
[事業目的]												
<p>北陸新幹線敦賀開業および中部縦貫自動車道全線開通に向けて、県内の道の駅や観光案内所などで観光客に宿泊施設やおすすめの食事場所を交えた観光コースの提案等が行える人材の育成を進めることで、観光客の満足度を高めるだけでなく回遊性の向上による観光消費額の増加を図る。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 福井県認定観光ガイド養成講習会の開催</p> <p>①講習内容（全7回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県内全域の観光情報の習得 ・本県観光地の魅力を近隣県観光地と比較 ・県内観光ルートのコーディネート手法 など <p>②実技試験による認定</p> <p>※受講要件 認定講習会を福井県観光おもてなし認定の上位講座に位置付け、福井観光おもてなし認定を受けていること</p> <p>(2) 福井県認定観光プレミアムガイド養成講習会の開催（平成30年度以降）</p> <p>上記の「福井県認定観光ガイド」における認定者を対象に、複数以上の観光地でその土地ならではの情報を提供できる人材を育成する講習会を開催（「福井県認定観光ガイド」と同様に、実技試験により認定）</p>												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						2,748	2,748	2,748				
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	福井県認定観光ガイド認定数（人）					(30)	(30)	(30)	H34までの目標値 210人			
活動指標	認定ガイド養成講習会の実施（回）					(7)	(7)	(7)	実施予定回数			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県				
予算額	2,748			(諸) 210	2,538	事業実施方法		直営				
						補助率						

事業評価

事業名	福井県認定観光ガイド養成事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔			
[事業の必要性・要求の背景]										
<p>現地での観光情報の提供が他県と比べても低い状況にあり、観光案内所や道の駅、観光施設、宿泊施設などとの連携を強化し、着地情報の充実を図ることで観光客の満足度を高める必要がある。</p>										
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="font-size: 2em;">{</td> <td style="padding: 0 10px;"> 現地で入手した情報により予定を変更したと回答した観光客の割合 71% (じゃらんリサーチセンター統計) 福井県への観光客が現地で良い観光情報を入手できた割合 19% (全国41位) (じゃらん宿泊旅行調査2014結果) </td> <td style="font-size: 2em;">}</td> </tr> </table>								{	現地で入手した情報により予定を変更したと回答した観光客の割合 71% (じゃらんリサーチセンター統計) 福井県への観光客が現地で良い観光情報を入手できた割合 19% (全国41位) (じゃらん宿泊旅行調査2014結果)	}
{	現地で入手した情報により予定を変更したと回答した観光客の割合 71% (じゃらんリサーチセンター統計) 福井県への観光客が現地で良い観光情報を入手できた割合 19% (全国41位) (じゃらん宿泊旅行調査2014結果)	}								
[受益者]				[想定される受益者数]						
観光客				11,318千人 (平成26年観光客入込数)						
他県の状況	富山県 とやま観光未来創造塾			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 観光おもてなし認定事業 (役割分担) 福井県認定観光ガイド養成講習会は、福井県おもてなし認定制度における認定者を対象			市町との連携状況						
[事業の評価]										
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価					
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

ふくい観光誘客強化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H16 年度 経過年数 13 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等			[福井県観光新戦略]									
[事業目的]												
本県の観光素材やツアーコースを積極的に活用する旅行会社に対し支援を行い、特集記事への掲載や旅行商品の造成を促すとともに、旅行会社へ直接営業することにより、観光誘客の拡大を図る。												
[事業内容]												
(1) 福井県をPRする特集記事（観光素材やツアーコースを紹介する取組）に対しその内容に応じて助成（10,000千円） ①助成対象：特集記事で福井県の観光素材を1以上取り上げる 県内に1泊以上するツアーを広告媒体で紹介 ②助成条件：新規性、誘客力、費用対効果等の観点から申請内容等を総合的に勘案し1,000千円/社を限度に助成												
(2) 旅行会社への営業（2,807千円）												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		50,797	50,797	53,983	26,890	12,807	12,807	12,807	送客実績に応じた助成を廃止（H28）			
2月現計予算額の推移		50,797	50,797	53,983	26,890							
決算額の推移		50,731	50,731	51,354								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	特集記事による送客数 (人)	(目標) 実績			(10,000)	(15,000)	(15,000)	(15,000)	H27目標の1.5倍 事業への申請事業者数			
活動指標	取組事業者数(者)	(目標) 実績	(15) 12	(15) 11	(15) 13	(15)	(20)	(20)				(20)
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		(公社)福井県観光連盟				
予算額	12,807				12,807	事業実施方法		補助				
						補助率		10/10				

事業評価

事業名	ふくい観光誘客強化事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>北陸新幹線金沢開業により全国から北陸エリアへの注目が高まっているこの機会を捉え、北陸へ行きたいと考える観光客に対し福井県の観光素材をPRし、訪問を働きかけていく必要がある。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内観光事業者（宿泊業、飲食サービス業）				5, 290事業所（H26経済センサス）			
他県の状況	富山県 旅行商品の企画に対する助成 石川県 観光素材をPRする手段として、事業ごとに旅行会社への記事掲載予算を計上 東京事務所に首都圏誘客専属の職員が3名常駐しており、きめ細かい営業を実施			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）		
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）			市町との連携状況	・市町から観光素材の提供や営業への同行を依頼		
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
・福井県をPRする特集記事への助成実績 8社 13件（H28.1末現在） ・送客実績に応じた助成（H26実績） 誘客数 58,040人 旅行商品数 212本		・送客実績に応じた助成については、11年間実施し一定の成果が見られたため廃止し、福井県をPRする特集記事への助成に一本化		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理統合	<input checked="" type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他	見直し額 △ 13,000

マイカー観光促進キャンペーン事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/> 政推枠	ビジョン	[元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H22 年度	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	■ 補助金		経過年数		
			[福井県観光新戦略]				<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他		7 年		
[事業目的]												
マイカーを利用した観光客の県内での滞在・周遊を促進するため、県内の主要観光地を結ぶ有料道路の割引を中心とした観光誘客を行う。												
[事業内容]												
(1) 有料道路の通行料金の半額割引 (34,029千円) 対象道路および実施期間 ①三方五湖有料道路 9～11月 ②法恩寺山有料道路 ゴールデンウィーク、夏休み、スキーシーズン(1月、2月)の土日祝日												
(2) 半額割引利用者に対し、期間中協賛店にて割引を実施 (1,214千円) ①三方五湖有料道路：嶺南エリアで実施 ②法恩寺山有料道路：奥越エリアで実施												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		27,100	28,955	40,851	32,131	35,243	35,243	35,243	半額割引期間中に協賛店にて割引を実施 (H28～)			
2月現計予算額の推移		27,100	27,286	40,851	32,131							
決算額の推移		27,098	27,286	40,851								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	年間通行台数(台)	(目標)	(270,000)	(290,000)	(290,000)	(300,000)	(300,000)	(310,000)	(310,000)	舞鶴若狭自動車道 H26全線開通後10,000台増 中部縦貫自動車道永平寺大野道路 H28全線開通後10,000台増		
		実績	282,612	279,042	290,016							
活動指標	割引対象日数(日)	(目標)	(140)	(173)	(229)	(169)	(164)	(163)	(161)	半額割引キャンペーン実施時期		
		実績	140	173	229							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県、福井県道路公社				
予算額	35,243			諸	1,700	33,543	事業実施方法	直営、補助				
							補助率	1/2				

事業評価

事業名	マイカー観光促進キャンペーン事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>関西・中京圏からの観光客は本県を訪れる県外観光客の約8割を占めマイカーによる来県が多いことから、県外からの観光客の誘致拡大を図るうえで必要である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
マイカー利用の観光客、スキー客				750,000人			
他県の状況	石川県 白山白川郷ホワイトロードを利用かつ石川県内に宿泊した場合片道の通行料金が無料 岐阜県 飛騨地域に宿泊した場合通行料金が半額	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	・若狭町、美浜町 レインボーライン紅葉まつりを10月に実施				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
・三方五湖有料道路 半額割引期間：平成27年9月～11月 実績：26,754台（前年比91%） ・法恩寺山有料道路 半額割引期間：平成27年ゴールデンウィーク 夏休み、平成28年1・2月土日祝日 実績（1月末現在）：109,698台（前年比83%）		・三方五湖有料道路および法恩寺山有料道路の利用者に対し、嶺南エリア、奥越エリアの割引チラシを配布		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他	見直し額

JR金沢駅内福井県観光案内コーナー設置運営事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業開始年度 H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度 H34 年度	H34 年度
関連する県の計画等			[福井県観光新戦略]								
[事業目的]											
JR金沢駅の石川県金沢情報センター内に福井県観光案内コーナーを設置することで、北陸新幹線の当面の終着駅であるJR金沢駅において本県観光地の認知度向上および誘客拡大を図る。											
[事業内容]											
(1) 福井県観光案内コーナーの設置 ①事業内容 「ふくい観光コンシェルジュ」常駐、福井県の観光ポスター掲示、パンフレットの設置 ②事業主体 公益社団法人福井県観光連盟											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移				6,942	12,658	12,738	12,738	12,738			
2月現計予算額の推移				4,764	12,658						
決算額の推移				2,726							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	観光客入込数(千人)	(目標)	(11,000)	(11,000)	(12,000)	(12,000)	(12,250)	(12,500)	(12,750)	H31目標 13,000千人(観光新戦略)	
	(※暦年)	実績	9,774	10,344	11,318						
活動指標	金沢駅における本県観光地等の案内件数(件)	(目標)			—	(1,464)	(1,825)	(1,825)	(1,825)	1日当たりの案内人数 H26以前 3人/日 H27目標 4人/日 H28以降目標 5人/日	
		実績			33						
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		(公社)福井県観光連盟			
予算額	12,738				12,738	事業実施方法		補助			
						補助率		県10/10			

事業評価

事業名	JR金沢駅内福井県観光案内コーナー設置運営事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>北陸新幹線金沢開業により首都圏から金沢を訪れる観光客が増加している中で、金沢を訪れた観光客に本県へ足を延ばしてもらうために、JR金沢駅内で本県の観光情報を発信することが必要である。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
観光客				観光情報センター利用者数 820千人(27年度見込)				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	・各市町のパンフレットやイベントチラシ等を配架 ・各市町が観光PRする際に観光情報センター内のイベントスペースを使用			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
・ふくい観光コンシェルジュの配置 3人 ・金沢駅における本県観光地等の案内件数 1,141件(北陸新幹線金沢開業後～28年1月末現在)					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

福井を学ぶ体験旅行推進事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/> 政推枠	ビジョン	[元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H22 年度	事業終了予定年度	— 年度
関連する県の計画等		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	■ 補助金		経過年数		
			[福井県観光新戦略]			<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他					
[事業目的]												
北陸新幹線金沢開業により北陸エリアへの注目が集まっているこの機を捉え、北陸3県が一体となって首都圏からの修学旅行をはじめとした教育旅行の誘致活動を強化する体制づくりを進めるとともに、福井ならではの体験の情報を積極的に発信し、福井県への誘致促進を図る。												
[事業内容]												
(1) 旅行会社、教育関係機関への営業強化 5,065千円(補助金 4,805千円、実行経費 260千円) 事業主体 県観光連盟 ①、②、④～⑦ 県③ 内 容 ①合宿誘致に向けた旅行会社等への営業訪問 ②合宿誘致に向けたパンフレット作成と大学での説明会実施 ③修学旅行誘致に向けた教育関係者の招聘 ④北陸3県、JR西日本、JR東日本との連携による修学旅行フェアの開催 ⑤教育旅行ガイドブック「学び旅」のリニューアル ⑥福井県オリジナル体験メニューの体験料助成(平成29年度以降)												
(2) 学生等の合宿誘致の推進 39,813千円(補助金) 事業主体 市町 助成内容 宿泊費 県の負担上限500円/人泊(28年度目標 67,582人泊) 地域交流費 定額250円/人(28年度目標 24,085人) 補助率 1/2以下(宿泊費) 10/10以下(地域交流費)												
(単位：千円)												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移	25,125	34,365	46,089	38,430	44,878	47,220	49,562	修学旅行フェアの開催および教育旅行ガイドブック「学び旅」のリニューアルに伴う増(平成28年度)				
2月現計予算額の推移	25,125	32,586	36,180									
決算額の推移	21,530	29,620	31,217									
[成果指標等の推移]												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	県外からの教育旅行者数(人)(※暦年)	(目標) (64,000)	(68,000)	(70,000)	(80,000)	(85,000)	(90,000)	(95,000)	観光新戦略：平成31年目標値 100,000人			
		実績 65,930	69,095	78,900								
活動指標	合宿助成制度実施市町数(市町)	(目標) (17)	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)	(17)	県内17市町			
		実績 14	15	15								
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県、(公社)福井県観光連盟					
予算額	44,878				44,878	事業実施方法	直営、補助					
						補助率	県10/10					

事業評価

事業名	福井を学ぶ体験旅行推進事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>修学旅行や学生合宿等の教育旅行は、団体で平日等の閑散期に連泊（平均2.5泊）することが多い。また、教育旅行で来県した場合、将来リピーターとして再度「思い出の地」を訪れることが多いため、切れ目ない観光誘客の促進を図るため必要である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県外からの教育旅行者数				85,000人			
他県の状況	富山県 「富山で合宿！」誘致事業補助金	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・市町に営業への同行を依頼 ・学生合宿への助成については市町も同額を負担 ・市町および関係事業者間で、各市町の合宿の受入状況や、取組事例などの情報交換会を実施 				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<26年度実績> ・県外からの教育旅行者数 78,900人 ・合宿人数 66,900人		・更なる教育旅行誘致を推進するため、新たに北陸3県共同で、首都圏において北陸3県で修学旅行フェアおよびエクスカージョンを開催		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

福井ならではのバスツアー催行事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H27 年度	事業終了予定年度	H31 年度
関連する県の計画等			政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	■ 補助金		経過年数		
			[福井県観光新戦略]				<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他				
[事業目的]												
福井ならではの魅力ある観光地を結び、学びと体験を取り入れたツアーを催行することで、観光誘客を促進するとともに観光消費額の拡大を図る。												
[事業内容]												
(1) ツアーの催行(6, 700千円) ①近代化遺産周遊ツアー ②鯖街道と秘仏巡りツアー ③伝統産業ツアー ④福井まちなかツアー ⑤奥越観光ツアー ⑥北前船の歴史と文化ツアー												
(2) 誘客イベントの開催(1, 000千円) ツアーの実施にあわせた誘客イベントの開催およびツアー実施に必要な資機材の購入等 実施主体 勝山市、大野市 補助率 各1/2以内 補助対象 誘客イベントの開催経費、ツアー実施に必要な資機材の購入等												
(3) ガイド養成(776千円) ツアーガイドを対象としたガイド技術とおもてなしに関する研修会の開催 対象 自然体験、野外活動、アウトドアに興味のある意欲的な県民等 内容 奥越地域の歴史等の基礎知識(講義)2回、野外活動の実践(実技)4回 計 6回												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					11,385	8,476	8,176	5,476				
2月現計予算額の推移					11,385							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	ツアー送客人数(人)	(目標)			(2,490)	(1,978)	(2,756)	(1,966)	乗車率 60%(24名)×10回、70%(28名)×14回 80%(32名)×18回			
		実績										
活動指標	ツアー開催日数(日)	(目標)			(87)	(76)	(70)	(56)	上記設定回数の総計			
		実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県、旅行会社、市町				
予算額	8,476				8,476	事業実施方法		直営、補助				
						補助率		定額(旅行会社)、1/2(市町)				

事業評価

事業名	福井ならではのバスツアー催行事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>県外旅行会社が作成する福井県へのツアーは、東尋坊や永平寺などの主要観光地を巡る定番コースが多く、福井ならではの観光素材が十分に組み込まれていない状況である。 観光誘客の拡大に向けて、エリア・テーマ別にツアーを造成し、新たな観光需要を掘り起こすことが必要である。</p>							
<p>[受益者]</p> <p>ツアー観光客</p>				<p>[想定される受益者数]</p> <p>1,978人</p>			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 恐竜王国福井体験ツアー開催事業 近代化遺産周遊バスツアー運行事業 <実績> H25 恐竜王国福井体験ツアー開催事業開始 H26 近代化遺産周遊バスツアー運行事業開始 H24 上記の事業を当事業に1本化				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)	市町との連携状況	・南越前町 近代化遺産周遊ツアーにおいて復刻弁当の開発を実施				
<p>[事業の評価]</p>							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
日帰りツアーが好調な半面、宿泊ツアーに課題 ※平成28年1月末現在 ・近代化遺産周遊ツアー：36名 ・鯖街道と秘仏巡り：157名 ・伝統産業ツアー：271名 ・福井まちなかツアー：15名 ・恐竜ツアー：181名		・恐竜ツアーは目標を上回り好調であるため、民間へ移行 ・福井まちなかツアーは福井市がガイド付き案内など日帰り観光客に対応し、県は県外からの宿泊を伴うツアー造成に移行		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

ふるさと交流による嶺南・嶺北一体化事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 ■ 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H26 年度 経過年数 3 年	事業終了 予定年度	H28 年度
関連する県の計画等			[福井県観光新戦略]									
[事業目的]												
高速交通体系の整備進展を機に、嶺北の児童・生徒が遠足等により嶺南の歴史・風土を学ぶ機会を増やして、ふるさと福井の一体化を図る。												
[事業内容]												
(1) 嶺北地域の児童生徒の嶺南地域での体験活動の促進 体験活動料金の割引 内容：嶺北地域の児童生徒が嶺南地域で行う体験等のうち、県が定める「体験メニュー一覧」に掲載する体験料や入館料等を500円/人を上限として割引 対象：嶺南地域の観光協会・観光団体・観光施設・市町等												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移				7,621	7,952	7,888						
2月現計予算額の推移				1,721	2,887							
決算額の推移				1,683								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	事業利用者数(人)	(目標)		(15,000)	(15,000)	(15,000)			補助対象人数			
		実績		3,527								
活動指標	対象施設数(施設)	(目標)		(120)	(120)	(120)			H26実績の約20%増：120施設			
		実績		99	119							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県、民間事業者					
予算額	7,888				7,888	事業実施方法	直営、補助					
						補助率	定額					

事業評価

事業名 ふるさと交流による嶺南・嶺北一体化事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>平成26年7月の舞鶴若狭自動車道の全線開通を機に、嶺北地域の児童生徒が嶺南地域の自然や風土、歴史・文化に実際に触れ、ふるさと福井を学んでもらう必要がある。</p>							
<p>[受益者]</p> <p>福井県嶺北地域の小、中、高生</p>			<p>[想定される受益者数]</p> <p>15,000人</p>				
他県の状況			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
・事業利用者数(嶺南での体験参加者数) 4,154人(H28.1現在)				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

バスツアー造成促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度	H29 年度
関連する県の計画等			[福井県観光新戦略]									
[事業目的]												
北陸新幹線金沢開業や舞鶴若狭自動車道全線開通を契機として、本県を訪れるバスツアーを企画する旅行会社に対し支援することで、首都圏や中・四国地方からの新たな観光誘客を図る。												
[事業内容]												
(1) バスツアーを企画する旅行会社に対する支援 (2,000千円) 助成額: 25,000円/台 (上限80台) 事業主体: (公社) 福井県観光連盟												
(2) バスツアーを企画する旅行会社に対する支援 (平成29年度債務負担行為 2,000千円)												
[予算額の推移等] (単位: 千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移					2,000	2,000	2,000					
2月現計予算額の推移					2,000							
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数 (千人) (※暦年)	(目標)			(2,880)	(2,880)	(2,880)		36名 (定員45名×乗車率8割) × 台数			
		実績										
活動指標	バスツアー支援台数 (台)	(目標)			(80)	(80)	(80)		補助台数			
		実績										
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	(公社) 福井県観光連盟					
予算額	2,000				2,000	事業実施方法	補助					
						補助率	10/10					

事業評価

事業名	バスツアー造成促進事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔
[事業の必要性・要求の背景]							
平成26年8月に一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金に変更されたことに伴い、ツアーバス料金が値上がりしたことから、引き続き旅行会社に本県へのバスツアーを企画してもらう必要がある。							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内観光事業者（宿泊業、飲食サービス業）				5, 290事業所（H26経済センサス）			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
・助成実績 46台（H28.1現在）				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

これぞ福井の観光ポスター制作事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	■ 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度 H27 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 H28 年度	H28 年度
関連する県の計画等			[]								
[事業目的]											
国内外に「幸福日本一の福井」を伝え、思わず福井に来たくなるような観光ポスターを制作し、本県の認知度を向上させることで観光誘客の拡大を図る。											
[事業内容]											
(1) これぞ福井の観光ポスター制作 コンセプト : 「福井のしあわせ」 キャッチコピー : 「FUKUI HAPPINESS」 サブコピー : 「来る人も住む人もしあわせ福井」 ビジュアル : 春の風景および、県内観光地等を2種類ずつ撮影 (全4種類)											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移					9,500	3,780			H27 9種類作成 H28 4種類作成		
2月現計予算額の推移					9,500						
決算額の推移											
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	観光客入込数 (千人) (※暦年)	(目標) (11,000)	(11,000)	(12,000)	(12,000)	(12,250)			H31目標 13,000千人 (観光新戦略)		
		実績 9,774	10,344	11,318							
活動指標	作成数 (枚)	(目標)			(9)	(4)			春 (2種) ・ 主要観光地 (2種)		
		実績 9									
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県				
予算額	3,780				3,780	事業実施方法	直営				
						補助率					

事業評価

事業名	これぞ福井の観光ポスター制作事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>北陸新幹線金沢開業を受けて北陸エリアに注目が集まる中で、福井県の魅力度は依然として低い状況である。県外に「幸福日本一の福井」を分かりやすく伝える観光ポスターを制作する必要がある。</p> <p>[47都道府県魅力度ランキング2015 福井県順位 29位]</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
観光客				11,318千人(平成26年観光客入込数)				
他県の状況	富山県 「富山で休もう。」をテーマに作成 石川県 四季別に作成			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況	・ポスターのキャッチコピー「FUKUI HAPPINESS」を、共通のロゴとし、各市町へ積極的な活用を促進 ・各市町の主催する、県外客の集客が見込めるイベント等での掲出を依頼			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
9種類制作 観光地(大本山永平寺、恐竜博物館) 夏の風景(東尋坊、日引の棚田) 秋の風景(養浩館、敦賀赤レンガ倉庫) 冬の風景(越前海岸、越前和紙) 食(越前がに)		春の風景と観光地を2種類ずつ制作			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

M I C E 誘致促進対策事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言における位置付け		■ 政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H28 年度	事業終了予定年度	H30 年度
関連する県の計画等			政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
<p>福井でMICEを開催するメリットを、「VISIT JAPAN トラベル&MICEマート」等の国際的な展示会においてPRを実施するとともに、計画的な営業活動を行い、国内外からのイベントやコンベンション等の誘致拡大を図る。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) VISIT JAPAN トラベル&MICEマート(VJTM)への出展 国内外の旅行会社や自治体、自治体観光協会等へのPRや商談を行うとともに、事前、事後に営業活動を実施</p> <p>(2) MICE誘致ツール・情報発信コンテンツ作成 ①福井ならではの体験プログラム(ユニークベニュー)を積極的にPRする総合支援ハンドブックの作成 ②県内でMICEを実施する際のおすすめパターンを紹介するセールスシートの作成 ③国際会議を誘致する際に、国際団体本部や理事会等への提出が必要になる開催提案書(ビッドペーパー)の作成</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						1,144	1,144	1,144				
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	当該事業によるMICE誘致件数(件)					(1)	(4)	(6)	初年度 1件 2年目 前年度商談の10% 3年目 前年度商談の15%			
活動指標	VJTM、事前営業等での商談者数(者)					(40)	(40)	(40)	①VJTM(3日間)の商談 30件(1日10件×3日) ②事前営業での商談 10件			
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		(公財)福井観光コンベンションビューロー				
予算額	1,144				1,144	事業実施方法		補助				
						補助率		1/2				

事業評価

事業名	MICE誘致促進対策事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔																								
[事業の必要性・要求の背景]																															
平成34年度北陸新幹線敦賀開業に向け、積極的に本県でのMICEの開催をPRし交流人口の拡大を図る必要がある。																															
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="border: none;">（</td> <td style="border: none;">開催実績</td> <td style="border: none;">平成24年度</td> <td style="border: none;">266件</td> <td style="border: none;">)</td> <td colspan="3" style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">平成25年度</td> <td style="border: none;">226件</td> <td style="border: none;"></td> <td colspan="3" style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">平成26年度</td> <td style="border: none;">247件</td> <td style="border: none;"></td> <td colspan="3" style="border: none;"></td> </tr> </table>								（	開催実績	平成24年度	266件)						平成25年度	226件							平成26年度	247件				
（	開催実績	平成24年度	266件)																											
		平成25年度	226件																												
		平成26年度	247件																												
[受益者]				[想定される受益者数]																											
県内の観光事業者、交通事業者、宿泊事業者等				50,000人（運輸 約17,000人、宿泊・飲食 33,000人）																											
他県の状況				前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)																										
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 コンベンション活用観光客誘致促進事業 (役割分担) コンベンション開催経費の助成			市町との連携状況																											
[事業の評価]																															
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価																										
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額																							
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了																								
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他																								

福井県「越前・若狭」の物産と観光展開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン	[元気な産業]	<input type="checkbox"/> 国庫	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	S59 年度	事業終了予定年度	— 年度
関連する県の計画等		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]	<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金	<input type="checkbox"/> その他	経過年数	33 年		
[事業目的]												
<p>本県の観光土産品等の企画・開発に取り組むとともに、新たな商品を大都市圏の消費者に対して直接販売・PRすることにより、北陸新幹線金沢開業や舞鶴若狭自動車道全線開通等に伴う効果を最大限に活かし、県外観光客の誘客拡大、観光消費額のアップを図る。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 福井県「越前・若狭」の物産と観光展の開催（横浜展：9,865千円、大宮展：7,994千円、大阪展：10,551千円）</p> <p>①開催期間 横浜：1月中旬 大宮：2月下旬 大阪：3月上旬</p> <p>②開催場所 大宮（そごう大宮店）、横浜（そごう横浜店）、大阪（高島屋大阪店）</p> <p>③実施内容 本県の農林水産物、特産品、民芸品、工芸品等の展示・即売 観光地のパネル、ポスターの掲出、ビデオ上映、パンフレット配布、県産品が当たる抽選会の開催</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		45,342	47,065	43,584	28,410	28,410	25,569	23,012				
2月現計予算額の推移		45,342	47,065	43,584	28,410							
決算額の推移		45,322	47,065	43,584								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	売上高（千円）	(目標)			(150,000)	(150,000)	(150,000)	(150,000)	H28以降目標 150,000千円			
		実績	146,696	172,192	150,835							
活動指標	出展者数（社）	(目標)			(150)	(150)	(150)	(150)	H28以降目標 150社			
		実績	119	168	157							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	28,410				28,410	事業実施方法	直営					
						補助率						

事業評価

事業名 福井県「越前・若狭」の物産と観光展開催事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
[事業の必要性・要求の背景] 平成27年3月に北陸新幹線が金沢まで開業し、北陸にも注目が集まっているが、福井県の知名度はまだ高いとはいえないのが現状である。県産品の販路開拓や新規観光客開拓のためには、福井の特産品を通じて福井の良さや福井に興味を持つ機会の提供が必要である。							
[受益者] 県内物産関係事業者等			[想定される受益者数] 150社				
他県の状況			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)		市町との連携状況	・各市町から、ポスター、パンフレットの提供を受け、物産展会場に設置する観光コーナーでPRを実施 ・各市町に観光PRコーナーへの参加を案内し、希望のある市町にPRの場を提供			
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度実績> ・横浜展 期間：平成28年1月13日(水)～19日(火) 場所：そごう横浜店 ・大宮展 期間：平成28年2月23日(火)～29日(月) 場所：そごう大宮店 ・大阪展 期間：平成28年3月 2日(水)～ 7日(月) 場所：高島屋大阪店				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

六呂師高原スポーツ・体験観光促進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫 <input checked="" type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 実行予算 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	H28 年度
関連する県の計画等			[]									
[事業目的]												
平成28年度の中部縦貫自動車道永平寺大野道路の全線開通を契機として、奥越地区の中でも雄大な自然を有する六呂師高原にスポーツ施設や周辺環境の整備を実施し、奥越の周遊観光拠点となる地域づくりを行い、自然やスポーツ、様々な体験等による観光客の誘致拡大を図る。												
[事業内容]												
(1) 六呂師高原の冬季・夏季体験メニューの充実(112,861千円) スキー体験エリアの整備、芝そりが体験できる芝生広場の整備												
(2) 六呂師高原を訪れるツアーの造成(ゼロ予算) 恐竜博物館の来館者を六呂師高原に誘導するために旅行会社への営業を強化												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移						112,861						
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	六呂師高原の観光客入込 数(人)(※暦年) (目標) 実績					(159,000)			H29目標 180,000人(H23観光客入込数の10%増)			
活動指標	スキー体験エリアの整備 (箇所) (目標) 実績					(1)						
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	112,861		76,000		36,861	事業実施方法	直営					
						補助率						

事業評価

事業名	六呂師高原スポーツ・体験観光促進事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>恐竜博物館や大野まちなか等の観光地は観光客が増加しているが、六呂師高原は六呂師スキー場営業休止の煽りを受け観光客入込数が減少している。平成28年度の中部縦貫自動車道全線開通を迎える中で、奥越地域の観光地全体の底上げのためには六呂師高原の活性化が必要である。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
六呂師高原を訪れる観光客				116,000人(平成26年)				
他県の状況				前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
					<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

北陸三県共同観光客誘致拡大事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	■ 政推枠	ビジョン	[元気な産業]			事業 区分	■ 国庫	□ 実行予算	事業 開始 年度	H18 年度 経過年数	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				■ 県単	□ 補助金				
			[福井県観光新戦略]			□ その他	■ その他					
[事業目的]												
平成27年の北陸新幹線金沢開業および北陸デスティネーションキャンペーン（北陸DC）の誘客効果を継続させ全国からの誘客を図るため、北陸三県とJRが一体となって北陸の魅力をPRし、旅行エージェントへの売り込みを図るキャンペーンを実施する。												
[事業内容]												
<p>事業主体 北陸三県誘客促進連携協議会（構成：福井県、富山県、石川県、JR西日本、事務局：JR西日本金沢支社）</p> <p>(1) 全国をターゲットとした誘客キャンペーン拡充（DC後キャンペーン）【平成27年度2月補正予算】 （事業費41,000千円（福井、石川、富山、JR西 各10,000千円、北経連1,000千円）） 北陸新幹線金沢開業および北陸DCの効果を継続させるため観光キャンペーンを実施し、全国に向けて観光情報を発信 地元がDCに向けて磨き上げた観光素材の定着・充実を図るとともに、旅行会社への売込みを強化</p> <p>(2) 三大都市圏をターゲットとした観光PR（事業費12,000千円（福井、石川、富山、JR西 各3,000千円）） 三県の観光地やアクセスを掲載した観光情報誌「北陸物語」の発刊（年4回（春夏秋冬） 各30万部） 三大都市圏の旅行エージェントを対象にした現地説明会・研修会の実施、観光素材説明会の開催</p>												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		3,000	3,000	3,000	3,000	13,000	3,000	3,000				
2月現計予算額の推移		3,000	3,000	3,000	3,000							
決算額の推移		3,000	3,000	3,000								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数（千人）	(目標)	(11,000)	(11,000)	(12,000)	(12,000)	(12,250)	(12,500)	(12,750)	H31目標 13,000千人（観光新戦略）		
	(※暦年)	実績	9,774	10,344	11,318							
活動指標	観光情報誌の配布（冊）	(目標)				(1,700,000)	(1,200,000)	(1,200,000)	(1,200,000)	30万冊×4季		
		実績	1,200,000	1,200,000	1,200,000							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		北陸三県誘客促進連携協議会				
予算額	13,000	10,000			3,000	事業実施方法		負担金				
						補助率		定額				

事業評価

事業名	北陸三県共同観光客誘致拡大事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>平成27年の北陸新幹線金沢開業、北陸DCの効果を継続させる必要がある。 また、域外からの誘客拡大に向けて、旅行会社や一般客への訴求力を高めるため、北陸3県が広域で首都圏、中京圏、関西圏での情報発信を強化する必要がある。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
北陸3県の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）				事業所数：福井県5,290、石川県7,387、富山県5,941（H26経済センサス）				
他県の状況	富山県・石川県も同額を要求			前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸DCを活用した誘客拡大事業 （実績） 期間中の主要観光地6か所の入込数：前年比26.8%増 （あわら温泉：257,000人・113.7%） （恐竜博物館：186,200人・154.1%）			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 福井・石川広域観光連携事業 （役割分担） 福井・石川広域観光連携事業は、加賀・越前エリアの特徴を活かして金沢駅・小松空港からの誘客を図るもの。当事業は、JRとのタイアップにより「北陸」として県外にPRを実施			市町との連携状況				
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
・北陸三県共同観光客誘致拡大事業 ①旅行会社やプレス招聘ツアー ②ツーリズムEXPOへの出展 ③観光素材説明会の開催 ④北陸物語の発刊 ⑤北陸カレッジ ・北陸DCを活用した誘客拡大事業 北陸DCの実施（平成27年10月～12月）		・引き続き全国に向けてPRを強化するほか、北陸DCの効果を継続させるため、平成28年10～11月（予定）にかけて「DC後キャンペーン」を実施			<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

福井・石川広域観光連携事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度 H22 年度 経過年数 7 年	事業終了 予定年度	— 年度
		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input type="checkbox"/> 県単	<input type="checkbox"/> 補助金			
関連する県の計画等			[福井県観光新戦略]				<input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> その他			
[事業目的]											
越前・加賀エリアとして県境を越えた一体的な圏域を形成し、域内の観光素材の魅力をまとめて首都圏や関西エリア等でPRすることにより、北陸新幹線等を活用した圏域外からの誘客と圏域内の周遊および地域経済の活性化を図る。											
[事業内容]											
事業主体 越前加賀広域観光推進協議会 (構成：福井県、石川県、両県観光連盟、大野市、勝山市、あわら市、坂井市、永平寺町、小松市、加賀市、白山市および当該8市町内団体等計42団体) (1) 首都圏キャンペーンの実施 (2) 高速道路活用による関西・中京方面からの集客 (3) 大手宿泊予約サイトと提携した観光情報発信											
[予算額の推移等] (単位：千円)											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由		
当初予算額の推移		5,000	5,000	5,000	5,000	4,545	4,545	4,545			
2月現計予算額の推移		5,000	5,000	5,000	4,545						
決算額の推移		5,000	5,000	5,000							
[成果指標等の推移]											
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠		
成果指標	観光客入込数(千人)	(目標) (11,000)	(11,000)	(12,000)	(12,000)	(12,250)	(12,500)	(12,750)	H31目標 13,000千人(観光新戦略)		
	(※暦年)	実績 9,774	10,344	11,318							
活動指標	首都圏等出向宣伝実施回数(回)	(目標)			(3)	(3)	(3)	(3)	関西・中京等		
		実績 1	5	3	3						
[財源内訳・事業主体等]											
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		越前加賀広域観光推進協議会			
予算額	4,545	2,045			2,500	事業実施方法		負担金			
						補助率		定額			

事業評価

事業名	福井・石川広域観光連携事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
[事業の必要性・要求の背景]								
<p>北陸新幹線金沢開業を受けて、金沢以遠である加賀・越前エリアが連携して首都圏からの誘客を図るとともに、リピーターが多い関西からの誘客を図る必要がある。</p>								
[受益者]				[想定される受益者数]				
福井県・石川県の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）				事業所数：福井県5, 290、石川県7, 387（H26経済センサス）				
他県の状況	石川県も同額を要求			前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）			
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸三県共同観光客誘致拡大事業 （役割分担） 北陸三県共同観光客誘致拡大事業は、JRとのタイアップにより「北陸」として県外にPR。当事業は、越前・加賀エリアの特徴を活かして金沢駅・小松空港からの誘客を促進			市町との連携状況	・越前・加賀エリアの8市町および観光・経済・農業団体等が参加			
[事業の評価]								
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点			事業評価			
<ul style="list-style-type: none"> ・金沢駅でのPRイベントの開催 ・高速道路を活用した関西・中京方面への出向宣伝 ・小松空港PRコーナー運営 ・首都圏での広告掲出 ・小松空港利用促進キャンペーン 		<ul style="list-style-type: none"> ・北陸新幹線金沢開業や、舞鶴若狭自動車道全線開通の効果を持続・促進するため、引き続き首都圏や関西圏のほか、空港を利用したPR活動を実施 ・また、28年度の中部縦貫自動車道福井北一大野区間開通に向けて、エリア内周遊に向けたPR等を実施 			<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
					<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
					<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

福井の魅力 戦略的プロモーション事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	■ 政推枠 ビジョン		[元気な産業]			事業 区 分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数 5 年	事業終了 予定年度	— 年度
関連する県の計画等			[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input type="checkbox"/> 県単	■ 補助金				
[事業目的]												
北陸新幹線金沢開業を受けて、引き続き首都圏・新幹線沿線での情報発信を強化・継続し、福井県の認知度を向上させるとともに、金沢においても情報発信を行い、首都圏から北陸への訪問客を福井へ引き込むことにより、観光誘客を促進する。												
[事業内容]												
(1) 主要駅等での情報発信 (42,242千円)												
①「ツーリズムEXPO」への出展(東京ビッグサイト)												
②(新)都庁展望台での出向宣伝												
③(新)首都圏のJR主要駅(100程度)にポスター掲出												
④大型広告掲出・出向宣伝(上野駅)												
⑤大型広告掲出・出向宣伝(大宮駅)												
⑥BCリーグバナー広告(長野県内の球場)												
⑦(新)恐竜イベント等への出展(長野県)												
⑧金沢駅コンコース デジタルサイネージ												
(2) 現地メディアへの営業活動 (5,535千円)												
イベント・物産展の開催に併せて現地メディアを営業訪問、出向宣伝等に同行する観光宣伝隊の管理・運営、県外イベント会場等へのブース設置												
[予算額の推移等] (単位:千円)												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		30,000	47,990	45,680	51,281	47,777	47,777	47,777	・山手線ラッピング、福井ブックフェア、ヤングファミリーをターゲットにした誘客プロモーションの廃止による減 ・都庁展望台での出向宣伝、首都圏の主要駅ポスター掲出、長野県での恐竜イベントへの出展の追加に伴う増			
2月現計予算額の推移		26,570	44,811	45,583	51,281							
決算額の推移		26,344	43,108	45,402								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数(千人)	(目標)	(11,000)	(11,000)	(12,000)	(12,000)	(12,250)	(12,500)	(12,750)	H31目標 13,000千人(観光新戦略)		
	(※暦年)	実績	9,774	10,344	11,318							
活動指標	広告掲出駅数(駅)	(目標)				(2)	(2)	(2)	(2)	上野駅・大宮駅		
		実績	4	5	2							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県、(公社)福井県観光連盟				
予算額	47,777				47,777	事業実施方法		直営、補助				
						補助率		10/10				

事業評価

事業名	福井の魅力 戦略的プロモーション事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>北陸新幹線敦賀開業に向け、移動時間の短縮効果が見込まれる首都圏・北陸新幹線沿線地域からの誘客拡大を図るとともに、北陸新幹線のターミナル効果により沿線地域から人が集まっている金沢からの誘客拡大を図る必要がある。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）				事業所数 5, 290（H26 経済センサス）			
他県の状況	富山県 ツーリズムEXPO 東京圏情報発信拠点整備事業 北陸新幹線開業効果活用誘客促進事業 北陸新幹線沿線誘客促進事業 東京圏メディアPR事業 石川県 マスメディア向けプロモーション活動 ファミリー層向け情報発信 いしかわ百万物語展 日本橋・京橋まつり ふるさと祭り東京 首都圏の鉄道事業者とのタイアップによる観光PR	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 北陸三県共同観光客誘致拡大事業 （役割分担） 北陸三県共同観光客誘致拡大事業は、JRとのタイアップにより「北陸」として県外にPR。当事業は、本県単独での観光プロモーションを実施	市町との連携状況	・ 出向宣伝等への参加、配布するパンフレットの提供				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 山手線ラッピング（平成27年7月～8月） ・ ツーリズムEXPO（平成27年9月） ・ 上野駅、大宮駅での大型広告掲出および出向宣伝（平成27年8月、平成28年2月） ・ BCリーグバナー広告（平成27年4月～9月） ・ 福井ブックフェアの開催（平成27年4月） ・ ヤングファミリーをターゲットにした誘客プロモーション（平成27年5月） 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 首都圏および北陸新幹線沿線での観光情報発信を強化するため、JRの主要駅において四季ごとに福井県の観光ポスターを掲出するほか、都庁展望台や長野県内においても観光PRを実施 		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 終期の見直し <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> その他	見直し額

観光商談会開催事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H24 年度	事業終了予定年度	— 年度
関連する県の計画等		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	■ 補助金		経過年数		
			[福井県観光新戦略]			<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他		5 年			
[事業目的]												
北陸新幹線金沢開業および舞鶴若狭自動車道全線開通を契機に、地域やターゲットに応じた誘客戦略を推進し、さらなる観光客誘致を促進を図る。												
[事業内容]												
<p>(1) 県外観光商談会の開催（3,999千円） 県内の観光産業関連事業者が現地の旅行会社のキーマンとの商談を行う機会を設定し、本県の観光説明（プレゼンテーション）および観光産業関連事業者による個別具体的な商談会を実施 開催場所：東京、名古屋、大阪、岡山（広島と交互に開催） 事業主体：（公社）福井県観光連盟</p> <p>(2) 観光関係会議等の開催（178千円） 福井しあわせ元気国体や北陸新幹線の福井延伸、全線開通した舞鶴若狭自動車道の利活用に向けて、全県での観光客受け入れ態勢づくり・連携等の意見交換を行う会議を開催</p>												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		10,219	11,847	12,048	5,180	4,177	3,759	3,383				
2月現計予算額の推移		10,219	11,847	12,048	5,180							
決算額の推移		10,200	10,237	11,610								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数（千人）	(目標)	(11,000)	(11,000)	(12,000)	(12,000)	(12,250)	(12,500)	(12,750)	H31目標 13,000千人（観光新戦略）		
	(※暦年)	実績	9,774	10,344	11,318							
活動指標	県内観光事業者の商談会参加者数(人)	(目標)				(200)	(200)	(200)	(200)	50名×4会場		
		実績	135	178	157							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		県、（公社）福井県観光連盟				
予算額	4,177				4,177	事業実施方法		直営、補助				
						補助率		10/10				

事業評価

事業名	観光商談会開催事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>本県への観光客誘致を促進するため、現地の旅行会社の企画担当部門のキーマンに対し定期的に観光情報を提供するとともに、県内の観光事業者との個別具体的な商談の場を設けることが必要である。</p>							
<p>[受益者]</p> <p>観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）</p>				<p>[想定される受益者数]</p> <p>事業所数 5, 290（H26 経済センサス）</p>			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	・各商談会開催時には参加を呼び掛け、連携して本県をPR				
<p>[事業の評価]</p>							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度実績> ・商談会参加県内観光事業者 東京 : 49名 大阪 : 71名 名古屋 : 56名 広島 : 27名 計 : 203名		・県外観光商談会 新たに中国地方からの送客を強化するため、広島、岡山の商談会を毎年交互に開催		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

観光情報メディア発信事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業開始年度	H23 年度	事業終了予定年度	— 年度
関連する県の計画等		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
[事業目的]												
<p>北陸新幹線金沢開業や舞鶴若狭自動車道全線開通を契機として一層の誘客拡大を図るため、大手宿泊予約サイトと他メディアとのコラボレーションや連動キャンペーンなどを実施し、タイムリーな情報を効果的に全国に発信するとともに、来県した観光客に有効な着地情報を提供することにより周遊性を高める。</p>												
[事業内容]												
<p>(公社) 福井県観光連盟が実施する事業への支援</p> <p>(1) 楽天バナー広告およびリビング新聞掲載 (5,314千円) 大手宿泊予約サイトでの特集ページ掲載と、ネットユーザーが少ない年齢層をターゲットとする雑誌またはフリーペーパーを連動。併せてプレゼントキャンペーンにより宿泊へと誘導</p> <p style="margin-left: 20px;">① 楽天バナー広告 11月～12月 (2か月間)</p> <p style="margin-left: 20px;">② 雑誌、フリーペーパー掲載 (サンケイリビング)</p> <p>(2) ご当地フリーペーパーの発行 (2,000千円) 県内の飲食店情報や観光情報を掲載したご当地フリーペーパー「るるぶFREE福井」を大手旅行会社や市町と共同で制作して、県内のホテル・旅館等に設置し、観光客への着地情報発信を強化</p>												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移	9,072	11,072	11,332	11,332	7,314	6,583	5,925					
2月現計予算額の推移	9,072	11,072	11,332	11,332								
決算額の推移	9,070	10,873	11,239									
[成果指標等の推移]												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光客入込数 (千人)	(目標)	(11,000)	(11,000)	(12,000)	(12,000)	(12,250)	(12,500)	(12,750)	H31目標 13,000千人 (観光新戦略)		
	(※暦年)	実績	9,774	10,344	11,318							
活動指標	活用メディア媒体数 (社)	(目標)			(4)	(3)	(3)	(3)	楽天トラベル、リビング新聞、るるぶフリー福井			
	(社)	実績	4	4	4							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		(公社) 福井県観光連盟				
予算額	7,314				7,314	事業実施方法		補助				
						補助率		10/10				

事業評価

事業名	観光情報メディア発信事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔
<p>[事業の必要性・要求の背景]</p> <p>旅行形態が団体旅行から個人旅行にシフトする中、個人旅行者に対しインターネットやフリーペーパー等を通じた観光情報を提供する必要がある。</p>							
<p>[受益者]</p> <p>観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）</p>				<p>[想定される受益者数]</p> <p>事業所数5, 290（H26経済センサス）</p>			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	<ul style="list-style-type: none"> ・るるぶフリー福井の紙面を各市町と共同して制作 ・るるぶフリー福井を各市町のイベント、出向宣伝等で配布 				
<p>[事業の評価]</p>							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<p><26年度実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・じゃらんメルマガ（90.1万通） →じゃらん宿泊人数75714人（対前年110%） ・楽天メルマガ（40万通）・バナー広告 →楽天宿泊人数327,724人（対前年106%） ・るるぶフリー福井 春夏版・秋冬版各10万部 				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

高速道路網を利用した観光誘客事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業区分	<input type="checkbox"/> 国庫	■ 実行予算	事業開始年度	H25 年度	事業終了予定年度	— 年度
関連する県の計画等		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input type="checkbox"/> 県単	□ 補助金		経過年数		
			[福井県観光新戦略]			<input type="checkbox"/> その他	■ その他		4 年			
[事業目的]												
<p>若狭さとうみハイウェイ（舞鶴若狭自動車道）および京都縦貫自動車道の全線開通により完成した若狭～京都～滋賀の高速道路網を活用し、京都府・滋賀県と連携した観光キャンペーンを実施することによりエリア内外からの誘客促進を図り、若狭さとうみハイウェイの継続的な利用促進につなげる。</p>												
[事業内容]												
<p>(1) 「海湖と歴史の若狭路」キャンペーンの実施（4,000千円（実行委員会負担金）） ①嶺南市町等と一体となって、若狭路の観光地やイベントをPRするキャンペーンを実施</p> <p>(2) 高速道路定額乗り放題プランの企画・PR（3,142千円） ①3府県・福井県内区間の高速道路乗り放題プランの実施</p> <p>(3) 3府県連携プロモーションの実施（1,313千円） ①共同パンフレット作成…滋賀県がデザイン費用を負担し、3府県で印刷 ②3府県の相互協力…広域モデルルートの設定や、自府県内・近隣府県での出向宣伝における連携・協力</p> <p>(4) NEXCOと連携した誘客キャンペーン等の実施（1,542千円） ①お国じまんカードラリー…NEXCO西日本との包括協定を締結する府県の「ご自慢」の観光地を周遊するキャンペーン ②SAでの観光情報発信…若狭路（福井県）へ向かう高速道路SAでの観光パンフレット配架、フリーペーパーへの出稿</p>												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移		0	32,181	17,177	9,997	8,997	8,097	H26 → H27：舞若道全通対策イベント等の完了 H27 → H28：京セラドームでの出向宣伝の完了				
2月現計予算額の推移		5,534	32,181	17,177								
決算額の推移		5,534	31,210									
[成果指標等の推移]												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光客入込数（千人） （※暦年）	（目標）	(11,000)	(11,000)	(12,000)	(12,000)	(12,250)	(12,500)	(12,750)	H31目標 13,000千人（観光新戦略）		
		実績	9,774	10,344	11,318							
活動指標	出向宣伝実施箇所 （箇所）	（目標）			(17)	(17)	(17)	(17)	嶺北地域、京都府・滋賀県、関西・中京ほか			
		実績		4	20							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	県					
予算額	9,997				9,997	事業実施方法	直営、負担金					
						補助率						

事業評価

事業名	高速道路網を利用した観光誘客事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>若狭～京都～滋賀の高速道路網を活用し、京都府・滋賀県と連携してエリア内外からの誘客促進を図るため、両府県と歩調を合わせて観光キャンペーンを実施することが必要である。</p> <p>また、本県の観光客の7割を占める自動車での旅行を推進するため、NEXCOとタイアップして高速道路網を利用した観光誘客策が必要である。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）				事業所数5,290（H26経済センサス）			
他県の状況	滋賀県 29年度「琵琶湖博覧会」を開催 3府県共同観光マップを作成 京都府 28年度「森の京都博」 29年度「お茶の京都博」を開催 3府県共同観光マップを作成	前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （実績）				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況	・嶺南市町 「海湖と歴史の若狭路」発信事業実行委員会への参加、共同での観光PR ・お国じまんカードラリーのスポット選定・運営				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度実績> ・舞若道全線開通1周年を記念して、パンフレット作成に加え、出向宣伝・雑誌・フリーペーパーへの出稿を実施 ・福井県内区間乗り放題プランに約1,900台の利用、3府県周遊乗り放題プランに約2,900台の利用 ・滋賀県・京都府等と構成する「京都・若狭・琵琶湖周回高速道路の活用協議会」により、乗り放題プランおよび観光PRを実施		・NEXCOのフリーペーパー「北陸道楽」への出稿を通じて、より広く観光地のPRを実施 ・滋賀県・京都府と新たに観光に関する協議会を設立し、連携して広域誘客を促進		<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

観光まちなみ魅力アップ事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業]			事業 区分	<input type="checkbox"/> 国庫	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	H24 年度 経過年数	事業終了 予定年度	H30 年度
関連する県の計画等		政策	[高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]				<input checked="" type="checkbox"/> 県単	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
			[福井県観光新戦略]			<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> その他					
[事業目的]												
伝統的まちなみや地域独自の歴史・文化を活かし、市町等とともに観光地のスケールアップを図る。												
[事業内容]												
(1) 観光拠点整備支援（ハード事業）（344,983千円）												
①事業内容 多くの誘客が見込まれる観光地などのまちなみ整備支援												
・あわら市 あわら温泉街の整備												
・若狭町 三方五湖周辺の整備												
・永平寺町 永平寺門前の整備												
・南越前町 今庄宿の整備												
・小浜市 小浜西組周辺の整備												
②補助率 県3/10（国4/10 市町3/10）												
(2) 観光魅力づくり推進（ソフト事業）（10,000千円）												
①事業内容 地域が主体となり広域に展開する競争力のある観光地の魅力づくり活動を支援												
②補助率 県1/2												
[予算額の推移等] （単位：千円）												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由			
当初予算額の推移		36,245	205,605	797,021	569,997	354,983	163,450	11,400	敦賀市、福井市の事業完了に伴う減（H28）			
2月現計予算額の推移		26,403	110,548	585,596	317,142							
決算額の推移		25,376	63,919	521,220								
[成果指標等の推移]												
区 分		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠			
成果指標	観光客入込数（千人） （※暦年）	（目標）	(11,000)	(11,000)	(12,000)	(12,000)	(12,250)	(12,500)	(12,750)	H31目標 13,000千人（観光新戦略）		
		実績	9,774	10,344	11,318							
活動指標	事業採択（件）	（目標）				(13)	(13)	(3)	(1)	ハード事業5市町＋ソフト事業8事業者		
		実績	12	19	13							
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体		市町等				
予算額	354,983				354,983	事業実施方法		補助				
						補助率		ハード3/10、ソフト1/2				

事業評価

事業名	観光まちなみ魅力アップ事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔
[事業の必要性・要求の背景]							
観光誘客のためには、核となる観光施設整備および観光地の魅力づくりが必要である。							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）				事業所数 5, 290（平成26年経済センサス）			
他県の状況		前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 目玉となる観光地づくり事業 （実績） ・H21～H23に実施（3か所）				
関連事業の有無・役割分担	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 周遊・滞在型観光推進事業 （役割分担） 誘客の核となるスポット（点）を整備する本事業に対し、周遊・滞在型観光推進創出事業は複数エリアをまとめた「面」としての整備を実施		市町との連携状況				
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
<27年度実績> ・観光拠点整備支援（ハード事業） あわら市、敦賀市、若狭町、福井市、永平寺町、南越前町、小浜市 ・観光魅力づくり推進（ソフト事業） 海山里まつり×B-1グランプリ実行委員会 福井観光コンベンションビューロー あわら温泉開湯130周年祭実行委員会 勝山市、株式会社まちづくり小浜、西の鯖街道協議会				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	

周遊・滞在型観光推進事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔	
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	<input type="checkbox"/>	政推枠	ビジョン [元気な産業] 政策 [高速交通時代にブランド・観光オンリーワン戦略]			事業 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 国庫 <input type="checkbox"/> 県単 <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他	事業 開始 年度	H28 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度	H34 年度
関連する県の計画等			[福井県観光新戦略]									
[事業目的]												
北陸新幹線敦賀開業および中部縦貫自動車道全線開通に向けて、これまで整備した観光地を活かして、核となる観光地と周辺の観光地や、地域ならではの体験、イベント、祭、食、買い物などの観光資源を結び、エリア全体の魅力向上や発信力強化、エリア内での滞在時間の延長、観光消費額の向上を図るためハード・ソフト両面から支援する。												
[事業内容]												
(1) 計画策定支援 (28年度) 【平成27年度2月補正予算】 ①補助率 1/2 ②県補助額 上限4,500千円/エリア (事業費ベース 9,000千円)												
(2) ハード支援 (29~34年度) ①対象事業 核となる観光地等のレベルアップを図ることによりエリア内の魅力創出につながるもの ②補助率 3/10 ③県補助額 上限3億円/エリア (事業費ベース 10億円)												
(3) ソフト支援 (29~34年度) ①対象事業 周遊・滞在を推進するエリア内の市町、観光事業者等が連携し、エリア内の魅力創出に資する新規または拡充事業で、継続的に実施するもの ②補助率 1/2 ③県補助額 上限5千万円/エリア (事業費ベース 1億円)												
[予算額の推移等] (単位：千円)												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	主な増減理由				
当初予算額の推移					27,000	350,000	350,000					
2月現計予算額の推移												
決算額の推移												
[成果指標等の推移]												
区 分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	目標・指標の考え方・積算根拠				
成果指標	観光客入込数(千人) (※暦年)	(目標)			(12,250)	(12,500)	(12,750)	H31目標 13,000千人(観光新戦略)				
活動指標	観光推進エリアの設置 (エリア)	(目標)			(6)	(6)	(6)	予算での設置数				
[財源内訳・事業主体等]												
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	事業主体	広域行政組合等					
予算額	27,000	27,000				事業実施方法	補助					
						補助率	計画策定 1/2					

事業評価

事業名	周遊・滞在型観光推進事業	部局名	観光営業部	課名	観光振興課	課長名	松尾大輔
[事業の必要性・要求の背景]							
<p>平成24年度以降、県、市町で進めてきた観光まちなみ整備、ふるさと創造プロジェクト、道の駅の整備などの観光地のスケールアップを活かし、周遊・滞在型観光推進エリア内のさらなる誘客スポットのスケールアップ、エリア内の滞在時間の延長・周遊性向上に効果的なソフト事業支援により、エリアのさらなる魅力アップにつなげる必要がある。</p>							
[受益者]				[想定される受益者数]			
県内の観光関係事業者（宿泊業、飲食サービス業）				事業所数5,290（平成26年経済センサス）			
他県の状況	石川県 STEP21重点プロジェクト・リーディング事業 ソフト事業 補助率2/3	前事業の有無・実績	<input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 事業名 観光まちなみ魅力アップ事業 （実績） ・H24～H30（7か所）				
関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 （役割分担）	市町との連携状況					
[事業の評価]							
前年度の実績		実績を踏まえた28年度の変更点		事業評価			
				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額
				<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了	
				<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他	